

# ハンドブックの見方

本ハンドブックの各取組は、以下の項目をもとに記載されています。

中学生（小学生）・高校生に養成校を知ってもらう

## 高大連携プログラムの実施



共立女子大学・共立女子短期大学  
KYORITSU WOMEN'S UNIVERSITY / KYORITSU WOMEN'S JUNIOR COLLEGE



### この事例のポイント

- ・高校生が大学教育に触れる機会の提供
- ・トークライブ、フィールドワーク、IAとして大学生が参加など多様なアプローチによる連携プログラムの実施
- ・出張授業や説明会にとどまらず、実際に大学の科目を履修する機会の提供

### この取組を行った背景や目的

高校生が大学・短期大学の教育に触れる機会を提供し、教育内容への理解を深め、大学・短期大学が持つ学問領域への興味・関心を喚起することや高等学校との連携・協力を通じて、本学の教育活動や入学選抜等の改善に繋げることを目的としています。

### 実施した内容① 高等学校「フィールドワーク」の実施

対象：高校1年生

方法：連携校の高等学校の生徒を対象とし、大学・短期大学全体の説明、体験授業、学生生活トークライブ、キャンパスツアーが行われました（2024年11月実施）。

内容：当日は4名が参加し、体験授業や在学生とのトークライブに参加した生徒からは「大学が身近に感じられた」、「リーダーシップの授業が印象に残った」などの感想がありました。



取組のテーマとタイトル

学校名

学校のホームページ（QRコード）

紹介する事例の目的、内容等のポイント

どのような流れで実施したのか、実施にあたっての課題認識や取組の目的や目指す目標、を記載しています。

- ・実施した内容ごとに見出しをつけて記入する。
- ・対象：どのような人（年齢層、地域、組織など）が対象となったか。
- ・方法：どのように実施したか（プロセスや手法）
- ・内容：取組の詳細、また、ここがポイントといった特徴、成果、課題、今後の取り組みの方向性、などを記載しています。

### 実践するためのヒント

#### ○成功や継続するためのポイントや要因

- ・連携校協定の締結：高大連携プログラムを実施、活性化を図るため高等学校との間で協定の締結を行っています。
- ・協力体制の強化：高等学校と大学間で定期的に会議を行い、プログラムの進捗や課題を共有しています。
- ・実践的なプログラムの導入：高校生が大学で実際に講義や実習に参加できる、高校生が大学生との交流を通じて学ぶ機会をつくるというプログラムを用意しています。

#### ○実施体制について

- ・大学・短期大学の中期目標に高大連携プログラムの促進を位置づけ、大学企画課が中心となり組織的に対応しています。

#### ○今後の取り組みの方向性

- ・高等学校とのさらなる連携協定の促進
- ・卒業生による座談会、生徒のニーズに合わせた出張講義など、プログラムのさらなる充実
- ・保護者を含めた情報提供の機会の拡充

- ・成功や継続するためのポイントや要因
- ・実施体制
- ・取組にかかった組織や人材、費用、時間などのリソース
- ・教員や学生、または、関係機関等の役割分担
- ・今後の取り組みの方向性などを記載しています。